MySQL 5.7 から MySQL 8 へのアップグレード

From:
https://pandorafms.com/manual/!776/
Permanent link:
https://pandorafms.com/manual/!776/ja/documentation/pandorafms/technical_annexes/19_mysql_8
2024/06/10 14:34

MySQL 5.7 から MySQL 8 へのアップグレード

Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る

前提条件

MySQL 5.7 から MySQL 8 へマイグレートするには、少なくとも Pandora FMS バージョン NG 760 MR 52 へアップグレードする必要があります。

- root ユーザにてターミナルウインドウを開き、次のコマンドを実行します。

```
mysql --version
```

次のような出力が得られます。

```
mysql  Ver 14.14 Distrib 5.7.33, for Linux (x86_64) using  EditLine wrapper
```

- データバックアップ手順を実行します。詳細は、バックアップおよびリストア手順 を参照してください。

CentOS 7

- Pandora FMS サーバと Pandora FMS ソフトウエアエージェントを停止します。

```
/etc/init.d/pandora_server stop
/etc/init.d/pandora_agent_daemon stop
```

- Apache Web サーバを停止します。

```
systemctl stop httpd.service
```

または、

```
/etc/init.d/httpd stop
```

- Make a special database backup that is compatible with MySQL 8:
- MySQL 8 に互換性がある特別なデータベースバックアップを作成します。

```
mysqldump -u root -p pandora \
  --skip-add-drop-table \
  --complete-insert \
  --no-create-info > backup_pandora.sql
```

- MySQL 5.7 での通常のバックアップを作成します。(このバージョンに戻す場合の追加の保険です)

```
mysqldump -u root -p pandora > backup_pandora_5.7.sql
```

- MySQL 設定ファイル(my.cnf)をバックアップします。

```
cp /etc/my.cnf /tmp/my.cnf.BACK
```

- Percona 5 リポジトリを削除します。

```
rpm -qa | grep Percona-Server | xargs rpm -e --nodeps
```

- Percona 8 リポジトリをインストールします。

```
yum install https://repo.percona.com/yum/percona-release-latest.noarch.rpm -y
```

- 前述のリポジトリを有効化します。

```
percona-release setup ps80
```

- Percona 8 をインストールします。

```
yum install percona-server-server
```

- my.cnf ファイルをリストアします。

```
mv /tmp/my.cnf.BACK /etc/my.cnf
```

- query_cache_* を無効化するように my.cnf ファイルを修正します。

```
sed -i -e "s/^query_cache_type.*/#query_cache_type/g" /etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_size.*/#query_cache_size/g" /etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_min_res_unit.*/#query_cache_min_res_unit/g"
/etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_limit.*/#query_cache_limit/g" /etc/my.cnf
```

- HA 環境が無い場合は、mysqld セクションの次のコマンドでバイナリログを無効化します。

```
skip-log-bin
```

my.cnf ファイルのチェックには、“ 最適化と問題解決 ”
も参照してください。

- MySQL サービスを起動します。

```
systemctl start mysql
```

または、

```
service mysqld start
```

- インストールされたバージョンを確認します。

```
mysql --version
```

次のような出力を確認できます。

```
mysql  Ver 8.0.28-19 for Linux on x86_64 (Percona Server (GPL), Release 19,
Revision 31e88966cd3)
```

- MySQL のコマンドラインで、
  - pandora データベースを削除します。
  - 新たな pandora データベースを作成します。
  - pandora データベースを開き、Pandora FMS Web コンソールにあるスキーマをインポートします。
  - データをインポートします。
  - 特別な MySQL 8 互換バックアップをインポートします。

```
mysql -u root -p pandora
```

```
drop database pandora;
create database pandora;
use pandora;
source /var/www/html/pandora_console/pandoradb.sql;
source backup_pandora.sql;
```

- 必要なアクセス許可を再度追加する必要があります。 mysql にログインしていない場合は、 root ユーザ(パスワードは対応するものを利用)として以下を実行します:

```
mysql -u root -p <password>
```

- root としてログインしてら次のコマンドを実行します。
- パスワード検証プラグインを無効にします(オプション)。

```
UNINSTALL COMPONENT 'file://component_validate_password';
```

- ログインユーザが存在しない場合は作成します。

```
CREATE USER "<DBUSER>"@'%' IDENTIFIED BY "<DBPASS>";
```

注意: データベースへの接続 IP アドレスを制限したい場合は、% を接続元の IP アドレスに変更する必要があります。

- mysql にネイティブパスワードを設定します。

```
ALTER USER "<DBUSER>"@'%' IDENTIFIED WITH mysql_native_password BY "<DBPASS>";
```

- Pandora FMS データベース(pandora)に対して grant を行います。

```
GRANT ALL PRIVILEGES ON pandora.* TO "<DBUSER>"@'%';
```

- 変更を保存して抜けます。

```
flush privileges;
exit
```

データベースの対応が完了したら、次のステップを実行します。

- Pandora FMS サーバおよび Pandora FMS ソフトウエアエージェントを起動します。

```
/etc/init.d/pandora_server start
/etc/init.d/pandora_agent_daemon start
```

- Apache Web サーバを起動します。

```
systemctl start httpd.service
```

または、

```
/etc/init.d/httpd start
```

Rocky Linux 8/AlmaLinux 8/RHEL 8

- Pandora FMS サーバおよび Pandora FMS ソフトウエアエージェントを停止します。

```
/etc/init.d/pandora_server stop
/etc/init.d/pandora_agent_daemon stop
```

- Apache web サーバを停止します。

```
systemctl stop httpd.service
```

または、

```
/etc/init.d/httpd stop
```

- MySQL 8 に互換性のある特別なデータベースバックアップを作成します。

```
mysqldump -u root -p pandora \
  --skip-add-drop-table \
  --complete-insert \
  --no-create-info> backup_pandora.sql
```

- MySQL 5.7 での通常のバックアップを作成します。(このバージョンに戻す場合の追加の保険です。)

```
mysqldump -u root -p pandora > backup_pandora_5.7.sql
```

- MySQL 設定ファイル(my.cnf)をバックアップします。

```
cp /etc/my.cnf /tmp/my.cnf.BACK
```

- Percona 5 リポジトリを削除します。

```
rpm -qa | grep Percona-Server | xargs rpm -e --nodeps
```

- Percona 8 リポジトリをインストールします。

```
dnf install https://repo.percona.com/yum/percona-release-latest.noarch.rpm -y
```

- 前述のリポジトリを有効化します。

```
percona-release setup ps80
```

- Percona 8 をインストールします。

```
dnf install percona-server-server
```

- my.cnf ファイルをリストアします。

```
mv /tmp/my.cnf.BACK /etc/my.cnf
```

- query_cache_* を無効化するために my.cnf を修正します。

```
sed -i -e "s/^query_cache_type.*/#query_cache_type/g" /etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_size.*/#query_cache_size/g" /etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_min_res_unit.*/#query_cache_min_res_unit/g"
/etc/my.cnf
sed -i -e "s/^query_cache_limit.*/#query_cache_limit/g" /etc/my.cnf
```

- HA 環境が無い場合は、[mysqld] セクションの次のコマンドでバイナリログを無効化します。

```
skip-log-bin
```

my.cnf ファイルのチェックには、“ 最適化と問題解決 ”
も参照してください。

- MySQL サービスを起動します。

```
systemctl start mysql
```

または、

```
service mysqld start
```

- インストールされたバージョンを確認します。

```
mysql --version
```

次のような出力が見られます。

```
mysql  Ver 8.0.28-19 for Linux on x86_64 (Percona Server (GPL), Release 19,
Revision 31e88966cd3)
```

- MySQL のコマンドラインで、
  - pandora データベースを削除します。

    - 新たな pandora データベースを作成します。
    - pandora データベースを開き、Pandora FMS Web コンソールにあるスキーマをインポートします。
    - データをインポートします。
    - 特別な MySQL 8 互換バックアップをインポートします。

```
mysql -u root -p pandora
```

```
drop database pandora;
create database pandora;
use pandora;
source /var/www/html/pandora_console/pandoradb.sql;
source backup_pandora.sql;
```

- Pandora FMS サーバおよび Pandora FMS ソフトウエアエージェントを起動します。

```
/etc/init.d/pandora_server start
/etc/init.d/pandora_agent_daemon start
```

- Apache web サーバを起動します。

```
systemctl start httpd.service
```

または、

```
/etc/init.d/httpd start
```

Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る